



広報

第788号

平成21年(2009年) 3月1日

毎月1日・15日発行

人口 32,530人
世帯数 11,498世帯
(2月1日現在)

いながわ

編集・発行
猪名川町総務課

〒666-0292 兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑11-1 電話番号 072 (766) 0001 (代表) ファックス番号 072 (766) 3732

ともにできることから一歩ずつ

男性にも料理づくりの楽しさを知ってもらおうと、男女共同参画グループが主催の「いのちの料理教室」を開催しました。参加者は男女あわせて15人。和食の作りかたや盛り付けを楽しみました。



男女がともにゆとりのある豊かな生活を送ることができる社会の実現に向け、本町では平成13年度に「猪名川町男女共同参画行動計画」を策定し、住民の皆さんとともに取り組みを進めてきました。今回、時代の変化に対応し、参画と協働をより一層深めるため、計画の見直しを行いましたので、概要をお知らせします。

男女共同参画行動計画(改訂版)を策定



いきいきと暮らせる社会に

男女共同参画グループ

いきいきライフ代表 広瀬隆さん

私達は、男だから女だからといった慣習的な物の考え方をなくし、性別にこだわることなく、お互いを尊重し、すべての人がともに生きる社会をつ

つていきたいと考えています。いきいきライフは毎月第2土曜日に定例会で意見交換をしたり、講演会や料理教室などを開催し、意識や生活の中での男女の垣根を取り除くよう活動しています。ぜひ、私達の活動に参加してみてください。これまでと違った考え方や世界が見つかると思います。

いきいきライフセミナー

これからの地域福祉を考える

～共に生きる社会をめざして～

とき 3月15日(日) 午後1時30分～(受付同1時～)

ところ 生涯学習センター

講師 牧田 満知子さん(兵庫大学教授)

定員 先着40人

参加費 無料

申込み・問い合わせは、3月13日までに電話・FAX(767-2255)・Eメール(kikaku@town.inagawa.lg.jp)で、企画財政課(766-8711)へ。

近年、世界中で「人権尊重」「女性の地位向上」に向けた取り組みが行われ、国・県や本町においても男女共同参画社会の実現に向け、幅広い啓発・事業を進めてきました。本町では平成13年に「猪名川町男女共同参画行動計画」を策定し、男女が対等なパートナーとして社会のあらゆる分野における活動に参画することができるよう事業・施策を展開してきました。

この理念から、基本目標である「男女共同参画社会を実現するための意識の改革」「男女共同参画による社会づくりの推進」を踏まえ、男女がともに働き続けるための条件整備を進めていくこととしました。本町の特性を盛り込んだ改訂版

生涯にわたる心とからだの健康づくり。すべての人が安心して暮らせる社会環境の整備。新しい計画の主なポイントを紹介いたします。

地域コミュニティ。さまざまな地域活動に女性が積極的に参加することは、豊かで充実した生活につながります。小学校区ごとに設立されている地域まちづくり協議会や自治会などの地域コミュニティの活動に、男女がともに積極的に参加できる環境を整えていきます。

ワーク・ライフ・バランス。女性の就業意欲は年々高まり、就業継続や再就職の希望者も増加し、働き方も多様化しています。このようなかた、働き方の見直しを促進し、男女がともに仕事と家庭、地域活動、自己啓発など、自らが望むバランスで選択・実現できるワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進に努めます。

健康づくり。女性は妊娠や出産、更年期障害など、身体上・健康上の問題に直面するため、女性も男性もそれぞれの身体の特徴を十分に理解し、思いやりを持って生きてい

チェックしてみましょう

家庭や地域・職場での考え方や行動をチェックしてみてください。「はい」は多くありませんか?もう一度自分自身を見直してみましょう。

「主人」「奥さん」という言葉に抵抗を感じない。子どもが病気のとき、仕事を休むのは母親で当然だと思

う。女性は家事や育児ができて当然だ。また男性は家事や育児ができなくても仕方がない。

雑用やお茶くみ、掃除などが女性だけの仕事になっているのは仕方ない。

育児休業を男性がとるなんて考えられない。育児休業は女性がとるべきだ。

学校の保護者欄には、父親の名前を書くのがあたりまえだ。

町内会や自治会は、実際に参加するのが女性でも、代表は男性が良い。

男性よりも女性の言葉づかいの悪さが気になる。

計画の全容については、企画財政課窓口で閲覧、または町ホームページをご覧ください。問い合わせは、同課(766-8711)へ。